

< 初滑り兼指導員研修会スキーツアー >

日 程 2017/12/01-03

スキー場 長野県・志賀高原熊の湯スキー場

参加者 8名

<レポート>

ツアー参加者はスキー指導員研修会参加の6名と初滑りの2名で8名となりました。ゲレンデは公表の積雪30cmと少なめでしたが、熊の湯は今年の寒さと北斜面で朝夕は雪が締まり、コース整備もされていて、この時期としては十分、気持ち良く滑ることができました。リフトも山頂まで運行され、下りのコースは限られていたものの、土や石にも出会わず快適に滑走することができました。天候にも恵まれ、リフト山頂から見渡せる北アルプス方向の景色は大変素晴らしく、いよいよスキーシーズンが始まったと感じられる至福の時を過ごしました。

喜楽ホテルは温泉宿で、早めに到着できれば深夜24時まで温泉入浴が可能。土曜日の朝食は宿泊人数が少なかったためか、今年はいつものバイキング形式ではなく、品数の多い個人膳でした。(なお、日曜日朝のバイキング形式の朝食も品数が多く、今年も満足できるものでした。)。また夕食は今年もしゃぶしゃぶ等が出て大変好評でした。宿の設備も良好ですが、男子風呂のシャワーが、大勢で入る時間帯に全くお湯が出ずに水量もちょろちょろ、ボイラーのキャパシティー不足なのか、残念ながらこの点については不満が残りました。

夜のミーティングでは一緒にお酒を楽しく飲みながら、親交を深めるとともに、指導員連絡会の再スタートや検定会受験者に向けたプレ通信の発行等、今後に向けた真面目な意見交換も、少し行いました。

志賀高原は少し遠いですが、この時期は高速もあまり混まず、時間距離はそれほどありません。今年は寒さでゲレンデの雪は締まっていた一方で、山道にはまだほとんど積雪がなく往復とも順調でした。

功労指導員を取られる方がクラブの中でも今後増えてくることが考えられますが、指導者と一般のクラブ員が交流する場としてのコンセプトを持つこのツアーを来年も更に工夫を加えながら企画したいと思います。

